

○青森児童美術研究会 理事 大宮賢吉氏

第39回青森県「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの図画部門を審査いたしました。7階の広い会場には、すでに多くの絵が並べてありました。

多くの絵から「ごはんおいしいよ」「お米づくりは楽しいよ」という声が、絵を見る私の耳もとに聞こえてきました。

昨年より応募作品が増えたことも、とてもよかったですと思いました。

さて、三賞について少し触れてみます。

◎青森県知事賞 八戸市立城下小学校 5年 橘如花「おいしくなあれ」

とても大胆な描き方に圧倒されます。力を込めて、おにぎりをつくる人。そばには「早く食べたいよ」と見ている二人の女の子。この三人の配置が斜構図となり、うまく描かれています。

色彩的に見ても暖色系できりっと描きとても迫力があります。画面の中の「ごはん」が一粒一粒ていねいに線描されており、とてもすばらしいです。

◎青森県教育委員会教育長賞 八戸市立是川小学校 3年 中居凜穂「田うえでなえ運びの手つだいしたよ」

キリッとした顔で田植機を運転しながら田植えしているお父さんの表現がすばらしい。そばで苗運びの凜穂さんが、とてもかわいらしく表現されています。

田植機を画面の中央に描き、田植えが終った所と、これから田植えする田んぼの色の表現がとてもよい。

◎青森県農協中央会会長賞 三沢市立第一中学校 3年 七崎華蓮「おじいちゃんの田んぼ」

お米づくりには、田んぼがとても大事になります。

まずこの絵では、田んぼをとりまく周りの山々など自然の表現がすばらしいです。緑色の濃淡をうまく使って描いた森。画面中央に左から延びる

田のあぜ道の表現。遠くの山の描き方もよいです。

そして、画面を包む夕陽の輝きが「おじいちゃんの田んぼ」が大好きな七崎さんの心がよくわかり、とてもよい絵です。